

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの【 】内の番号は、ISBN（国際標準図書番号）です。



現代アートを続けていたら、 いつのまにかマタギの嫁になっていた —マタギ村・山熊田の四季—

大滝ジュンコ 著

山と溪谷社 2024年3月

1600円 【978-4-635-33080-0】

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

飲み会をきっかけに、マタギと知りあい結婚した現代アート作家が、新潟の山里での生活をつづった。山から切り出した薪で煮炊きをし、伝統的な方法で熊を狩り、赤カブ栽培のために山を焼く。そんな村の慣習やマタギ文化、自然と調和しながら生きる人々の姿は興味深い。村の伝統工芸である、樹皮を剥いて織る「しな布」を知ってもらうために展覧会に応募するなど、高齢者が多い村をなんとかして存続させたいという著者の熱い思いが伝わる。〔382.1〕



老後の家がありません —シングル女子は定年後どこに住む？—

元沢賀南子 著

中央公論新社 2024年3月

1700円 【978-4-12-005758-8】

ジャンル：現代社会を見つめる

社会人になってから12回の引っ越しを重ね、自らを住み道楽と呼ぶ著者が、高齢者施設や病院に入る前の「最後から2番目の家」を探す過程をレポートする。コロナ禍をきっかけにフリーランスとしての収入が激減し、将来設計の見直しが必要になったと著者はいう。その物件探しの射程は広く、新築戸建や地方移住、「お泊まりサブスク」にも及ぶ。人生100年時代の住宅選びの可能性を広げ、明るい高齢期の過ごし方を考える助けになる。〔365.3〕

恋愛ってなんだろう？



大森美佐 著

平凡社 2024年2月

1600円 【978-4-582-83944-9】

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

社会学者である著者が、恋愛にまつわる中学生の素朴な疑問に対話形式で向き合う。恋をするのが「ふつう」なのかという疑問から、なぜ恋人は一人だけとされるのかなど、大人も悩むような様々な疑問を丁寧に解きほぐして考えていく。他者との関係に悩んだ時の相談先も掲載し、一人で抱え込まない術を提示してくれる。性のありかただけでなく友人や恋人との親密さのかたちも多様化した現代において、恋愛をつうじて他者との関係を見つめなおすきっかけとなる一冊。[152.1]

コーダ 私たちの多様な語り

—聞こえない親と聞こえる子どもとまわりの人々—

澁谷智子 編

生活書院 2024年2月

1500円 【978-4-86500-166-2】

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

「コーダ」とは、聞こえない親を持つ、聞こえる子どもを指す言葉である。ヤングケアラーの研究者でもある編者が、6人のコーダの声を1冊にまとめた。高校生の時に手話に興味を持ち始め、親は言語的少数者だったと認識した人や、大人になってから現状や実態を知ってもらうために動画配信をする人もいる。各々の豊かな語りを通じ、聞こえない世界と聞こえる世界の両方を知る境界人であるというコーダの共通性に加え、その体験や想いの多様性をより深く理解できる。[369.27]

科博と科学 —地球の宝を守る—

篠田謙一 著

早川書房 2024年2月

960円 【978-4-15-340020-7】

ジャンル：知識・教養を深める

博物館を誰にも身近な知識の共有拠点にするため、「科学を文化に」という目標を掲げる国立科学博物館の館長が、博物館と日本の科学の現状を解説した。一般の人々が気候変動などの問題を正しく捉えるには、基本的な科学の知識を共有する必要があると著者はいう。特別展と企画展の違いや、資金難のためクラウドファンディングで9億円を集めたことについても語った。「かはくVR」や標本のデジタル化など科学の未来を支える博物館の取り組みにも触れ、実際に訪れてみたくなる。[406]

大阪市立図書館では、図書館で受け入れた一般成人向け新刊図書から、「あなたにこの本を！」選定委員会で推せんする図書を選び、「月刊あなたにこの本を！」を発行しています。生涯学習に役立つよう、また、多くの人々に読書に親しんでいただけるよう、幅広い視点で図書を選んでいきます。

バックナンバーは大阪市立図書館ホームページでご覧いただけます。また、「あなたにこの本を！」に選んだ図書の書誌データと紹介文を、オープンデータとして公開しています。1冊ずつにジャンルと紹介文をつけていますので、ご活用ください。

大阪市立図書館「あなたにこの本を！」<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/page/413.html>

